

環境学習都市宣言のまち ～第3次環境基本計画5つのテーマから～

第3次環境基本計画のテーマに沿った  
 さまざまな環境活動を隔月で紹介するシリーズです

# Act Locally

環境政策課 ☎(584)4691 FAX(584)4818

環境学習を通して共に学び・考え・行動し、豊かな地球環境を守り、未来へつなぐ

資源が循環するまち  
 コンポストでつくるたい肥で  
 野菜や花を育てる



コンポストに調理ごみを投入する調理員



自校式の給食を提供している市内の小学校には、15年以上前からコンポストが設置されています。

調理の過程で出る調理ごみからたい肥をつくるコンポストを導入した目的は「ごみの減量」と、できたたい肥を土づくりに生かし、学校花壇や授業などに活用して「資源の循環」を図ることです。

新たに始まった中学校給食の現場でも、ごみ減量の取り組みが行われています。

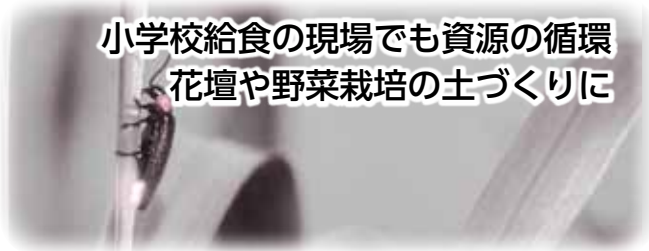
河西小学校  
 騎井 隆子 栄養教諭(左)、  
 津川 昌子 用務員

河西小学校では、栄養教諭がコンポストの管理をしており、毎日の給食を作る調理員が、調理の過程で出た調理ごみの一部を毎日コンポストに投入、<sup>かくはん</sup>攪拌して、たい肥にします。6月1日～5日の1週間を調べたところ、計101kgの調理ごみを投入して、土のう4袋分(約30kg)のたい肥になりました。

用務員がたい肥で土づくりを行い、その土を使って園芸委員の子どもたちが花壇の花を育てています。毎年きれいな花を咲かせ、学校花壇のコンクール「フラワー・ブラボー・コンクール」の入賞常連校



小学校給食の現場でも資源の循環  
 花壇や野菜栽培の土づくりに



たい肥を使った土で野菜の栽培観察



となっています。また、2年生の野菜栽培、4年生のヘチマ栽培などの授業でも、コンポストで作ったたい肥を活用しています。頼まれて地域の人に分けてあげることもあります。

資源循環におけるコンポストの活用は極めて有意義な取り組みです。しかし給食指導の根幹は「食べれば栄養 捨てればごみ」という意識の醸成にあります。まずは児童がおいしく残さず食べ、心身ともに健やかに成長することこそが、食育におけるもっとも本質的かつ大切な循環です。

## 環境学習 イベント情報

### 夏休み自由研究ワークショップ

琵琶湖のマイクロプラスチックを調べてみよう。マイクロプラスチックを使ったクラフトキーホルダー作り。

時 7月31日(金) 午前9時～11時

集合場所 第2なぎさ公園 BIWAKOモニュメント前

※屋外活動後、みさき公園 パークセンターで室内活動

内容 琵琶湖のマイクロプラスチック探し、琵琶湖の漂流物についての話、クラフトワークショップ

定 20人(応募多数の場合は抽選)

料 1,000円(付き添いは無料。ただし、クラフト参加は1,000円要)

持 飲み物、タオル、暑さ対策グッズ

申 7月20日(月・祝)までに右記申込フォームへ。

認 認定NPO法人びわこ豊穰の郷

☎(583)8686



申込フォーム

### 守山市環境学習 びわ湖でフィールドワーク・夏

時 7月11日(土) 午前9時30分～11時30分

所 第2なぎさ公園(駐車場:美崎公園)

内 ライフジャケットを着用し、琵琶湖に入って生物調査・観察

講 武田 みゆきさん(淡海を守る釣り人の会)

対 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴要)

定 20人

持 濡れてもよい肌を出さない服装、靴(マリンシューズなど)、帽子、タオル、飲み物

申 7月8日(水)までに右記申込フォームへ。

認 環境政策課

☎(584)4691 FAX(584)4818



申込フォーム